

●18～20 世紀初めにロシア人の旅行家と航海者が成し遂げた開拓と調査に関する地図資料アトラス これまで未公表だった多くの地図を収録

ロシア人の地理的大発見 18～20 世紀初め アトラス

コペレフ、オルロフ、セルゲーエヴァ編

サンクトペテルブルグ、「クリガ」社、2025 年、232 頁

Великие русские географические открытия XVIII - начала XX века. Атлас.

Сост.: Копелев Д.Н., Орлов Е.В., Сергеева К.В.

СПб., <Крига>. 2025 г. 232 с. ISBN9785984561020 (R278540)(245x300x25мм)

hard ¥30,690

■本書は、ロシアの文書館と博物館が所蔵する膨大な地図資料に基づいて作成されたアトラス(地図帳)です。所収の地図の多くが初公表です。版元は地図、地理書の出版で知られる「クリガ」社で、1845 年のロシア地理学協会(РГО)創立から 180 年にあたる 2025 年に刊行されました。

■下記の事項についての検討と紹介がなされています。

1)ロシア領土の形成過程とその調査・研究に関する諸問題。2)ロシア人の旅行家と航海者の活動。3)外国人のロシア国家観。

■地域としては、シベリア、北極地方、極東地方、北氷洋、南極、世界周航(クルゼンシュテルン他)、内陸アジア、中央アジア、ロシア領アメリカ、太平洋北部をカバーしています。

■編纂者について

ドミートリー・コペレフは地理的大発見史、ロシア地理学協会史、海賊

史などが専門の歴史家で、本書の学術的指導者です。アレクサンドル・オルロフは地理学者で、古地理学、古湖沼学の専門家です。また、セルゲーエヴァは地理学者で本書の論文の執筆者の一人です。3人ともロシア地理学協会会員。

■本書の「目次」から(大見出しのみ)：

1)ロシア人の地理的大発見 ツァーリ国から帝国へ(10～44 頁) 2)ロシア・ツァーリ国の地図作成(法) リアルなものの神話(45～87 頁) 3)空間理解のリズム 「ロシア七人組」(88～106 頁) 4)帝国の感覚 大国はこうして作られた(107～135 頁) 5)ペテルブルグ地図上のロシア地理学協会(136～145 頁) 6)地理学者の眼を通して見た地図(146～220 頁) 7)術語注解、文献目録(221～231 頁)

